

夢の花。



写真提供：幌延深地層研究センター
PR施設ゆめ地層館
(幌延町トナカイ観光牧場にて撮影)

留萌管内9市町村 花いっぱいイベント情報

花の見どころ情報

今年はこの街でも桜の開花や満開が早かったとか。自然を味わうのに最適な季節となりました。イベントと併せて、各市町村の花の見どころをご紹介します。どの花も、例年より見ごろが早くなっているそうです。

■幌延町
ふるさとの森・森林公園キャンプ場オープン中

■天塩町
鏡沼海浜公園キャンプ場オープン中

■遠別町
道の駅「富士見」にて、現在シソを使ったソフトクリームを開発中

■初山別村
みさき台公園キャンプ場オープン中

■羽幌町
5/31～6/1 ツール・ド・天売&焼尻アイランド 天売泊

■苫前町
5/28 (000～2100) チャレンジデー2008
夕陽ヶ丘オートキャンプ場オープン中

■小平町
6/14 藤祭り
5/25 にしん番屋まつり

■留萌市
5/25 うまいよ！るもい市
黄金岬キャンプ場、神居岩公園キャンプ場オープン中

■増毛町
5/25 増毛町えびまつり
リバーサイドパークオートキャンプ場オープン中

幌延町

澄んだ空のように青い花をつけるブルーポピー。「トナカイ観光牧場」の「北方園の花園」で6月から7月上旬まで。
 “幻の花”ブルーポピー



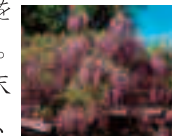
初山別村

しさんべつ天文台へ通じる道にはアジサイが群生している。岬台公園にも緑が多く、ラベンダーも植えられている。公園にはたくさんの花壇が



小平町

国道沿線には、6月から7月、エゾカンゾウが黄色く可憐な花をつける。鬼鹿の天応寺では、一本藤が有名。
 みことな一本藤



天塩町

天塩町在住の藤井義雄さんが町に約1500本のハマナスの苗を寄贈、うち100本を、NPO法人天塩川を清流にする会に依頼して鏡沼海浜公園の西側の丘に植えた。クリーンアップ作戦にて植樹



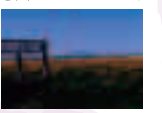
苫前町

5月24日、「フラワースマイル事業」として、公民館前や郷土資料館の周りにマリーゴールド、ペゴニアなどを植えたり、草取りを行う。古代ロマンロードを彩る花々



遠別町

富士見ヶ丘公園では連休に桜が満開。そのほかヤチブキやカタクリの花などが咲いていた。これからは金浦原生花園でエゾカンゾウをはじめヒオウギアヤメ、インソツジを見ることができる。
 金浦原生花園



羽幌町

朝日公園の「花菖蒲園」では、6月から7月まで菖蒲が楽しめる。道の駅に隣接するはぼろバラ園では、真夏にバラを堪能できる。
 鮮やかなバラが目を引き



増毛町

果樹園では果樹の花が咲き誇る。一番早いのはサクランボ。他にも、プラム、ブルーベリー、リンゴなど多くの種類の果樹の花が果樹園で咲き誇る。サクランボの花



留萌管内温泉紹介 小平町総合交流ターミナル施設 ゆったりかん

北海道留萌郡小平町字小平町 TEL (0164) 56-9111

アクセス：留萌市街から国道232号線を羽幌町方面へ約12km左側



「ゆったりかん」名物 光明石温泉

「光明石（こうめいせき）温泉」を兼ね備えた、小平町「ゆったりかん」。効能は、神経痛・腰痛・疲労回復など。お肌がツルツルになることから「活性の湯」とも言われている。日帰り入浴は、大人500円、小人300円。宿泊は食事別で5500円から。食事は小平牛を使用した肉料理をはじめ、タコ・ホタテ野菜からご飯まで、地元小平の食材をふんだんに使用したレストラン「黄陽（こうよう）」へ。お湯に入って美しく、食べて美しく、「美食美湯」を堪能してみてください。

タコ箱漁オーナー2008in おびら

タコ箱漁オーナーの募集は、5月7日から20日まで受付。15日現在で約8000人の応募がある。抽選は24日の「おびらタコ祭り&3直市」で300人に絞られる。当選されたオーナーは、それぞれの箱にタコが入るのを待つばかり。はたして抽選の結果はいかに。

いらめ底建網オーナーin 遠別

いらめオーナーの募集は、4月27日から5月10日まで行われ、882人の応募があり、5月18日の「遠別山菜まつり」で当選者120名が決定。舞台は、6月21日（土）のいらめオーナー漁に移る。命運のかかる漁獲量は当日、オーナーと共に、遠別の海で見守ることになる。

オーナー制最新情報！

編集後記

るもいfan通信 vol.2では「花」を特集しました。留萌管内の花の魅力は伝わったでしょうか。北海道は春から初夏にかけて、花々が一斉に開き、見るもの心を満たします。野山では素朴な花々が咲き、果実と見間違ってしまうほどの花をつける果樹の花たち。公園の花は、集う人をやさしく迎えます。日々、花の美しさを再発見しています。そうだ、忘れてはいけません。留萌管内には人という元気な花も咲き誇っています。花盛りの季節を楽しみましょう！
 (米倉 礼子)



草刈さん著書【句の人】(天塩町)・・・P2



ドライフラワーリース (小平町)・・・P2



トナカイの赤ちゃん(幌延町)・・・P3



るもいフードマガジン(留萌市)・・・P3

天塩の優美 草刈直吉さん

天塩山脈は延々と連なり、問寒列の沢には溪流が流れる。蛇紋岩の斜面に輝くように群れ咲く白い小さな花、天塩小桜。「天塩の野の花 Wild Flowers of Teshio」の著者、草刈直吉さんが愛してやまない花だ。平成18年4月に発行されたこの本に託した思いは...

しらねあおい
白根葵

ゆきわりこざくら
雪割小桜

野の花との出会い

草刈さんは大正12年、天塩町で生まれ育った。18歳で農林省に入省。第二次世界大戦が始まり出征、昭和20年、終戦とともに復員した。その後天塩町へ戻り、獣医師の免許を取得した。当時、天塩町には引き上げの開拓者が移住し、農業に従事する人が多かった。その労働力には牛や馬が欠かせない。長い冬を越した牛や馬に、春になると新鮮な草を与えるため、野草地へ放牧した。しかし、食欲が衰えたり、下痢や脳炎、ひどいときには死亡することがあったため、死後解剖した。結果、毒草が原因と判明する。草刈さんは毒草や野草の分布状況を調べ歩いた。



くさかり なおきち
草刈直吉さん (85歳)
大正12年生まれ
天塩町出身
元留萌地区農業共済組合
獣医師

「天塩の野の花～ Wild Flowers of Teshio～」の取り扱いは
天塩町観光協会 (天塩町役場企画商工課内)
電話: 01632-2-1001
販売価格: 1200円 (税込み)



テシオコサクラ



シラネアオイ



ユキワリコサクラ

当初は仕事としての野草調査であったが、昭和40年代から、本格的なライフワークとなった。ある日、妻の登美子さんとドライブをしていたときのこと。ふと休んだところで、崖の下に美しい花を見つけた登美子さん。草刈さんは、カメラ片手に崖を降り写真におさめた。その花は、白根葵。花言葉は優美。「天塩の野の花」の巻末には草刈さんが詠んだ短歌がある。「崖に咲く白根葵は鮮やかに妻と旅せし一時の夢」道北では珍しい花だが、それ以上に登美子さんとの思い出の花となった。

本の中に道北では咲かない花を、一種類だけ載せた。雪割小桜。道東方面に咲く花だが、登美子さんと旅先で見つけた思い出の花だ。登美子さんは平成17年に生涯をとじた。草刈さんにとって、「天塩の野の花」は、故郷の自然を後世に伝えると共に、亡き妻登美子さんへ届ける花の手紙なのだ。草刈さんは、幾度となく天塩の深い自然の中に足を踏み入れてきた。何度、山道をたどり野の花の美しさに我を忘れたか。だが、最近は何となく山に行くことが少なくなった。現在の草刈さんの楽しみは自宅の庭を眺めること。草刈さんはあえて庭に手を加えないという。何故の問いに「名も知らぬ草を見つけたことが、ひそかな喜びだから」と草刈さんは笑顔と共に語ってくれた。



松ぼっくりの会 (左から谷口さん、小坂さん、山内さん)
谷口ふあーむ
たにち えみこ
谷口 栄美子
〒078-3442 留萌郡小平町字鬼鹿田代
電話・FAX 0164-57-1954
URL http://www1.ocn.ne.jp/~yusura/
※5月27日(火)9:00オープン
花の苗販売します。(8月まで)

オープンガーデンへようこそ!

谷口ふあーむの谷口栄美子さんを中心とした、花好きな主婦3人のグループ「ふらわあ〜メッセージ松ぼっくり」では、平成5年からオリジナルのドライフラワーリースを地元道の駅「おびら鯉番屋」などで販売しています。種から花を育て収穫、ドライ加工まで、すべて3人でを行っています。花材から手作りする素敵なドライフラワーリースは人気があり、ネット販売もしています。ふあーむを訪れる人が増えてきたため、今年からは、オープンガーデンとして庭を開放! 休耕田を利用した庭には百種類以上の素朴な美しい花が咲きます。オープンガーデンで優しい時間をすごしてみませんか。

～幌延トナカイ観光牧場より～ トナカイの赤ちゃんが生まれました!



トナカイの赤ちゃんに会いに行きませんか。

生まれたばかりの、かわいいトナカイの赤ちゃんに会いに行きませんか。トナカイの出産ピークはゴールデンウィークですが6月には皆さんにお披露目されます。この牧場では毎年、7〜10頭程度出産されます。5月2日に今年も最初の赤ちゃんが生まれてから、順調に産産が続いています。トナカイはオスにもメスにも角があり、その角は毎年生えかわります。

トナカイの性格はとても穏やかで、エサを手のひらにのせて、口元に運びと、やさしくペロリとなめます。小さなお子さまでも安心して近づける動物です。館内にはレスランもあるのですが、ランチも是非どうぞ。北海道の美味しい旬の野菜と雪印のチーズを使ったカレードリアがオススメです。この時期は幻の花と言われるブルーポビーも楽しめます。



トナカイ観光牧場

幌延町 トナカイ観光牧場
北海道天塩郡幌延町字北進 TEL: 01632-5-2050
■開場時間
・4月～10月 午前9:00～午後5:00
・11月～3月 午前9:00～午後4:00
■入場料
・大人/一般 500円 団体 300円
・子供(小・中学生)/一般 200円 団体 100円
(※小学生未満は無料。団体は、10名以上。)

トナカイ観光牧場では6月1日よりブルーポビーの鉢植えを販売予定

季節の食材 NO.2

根曲竹 (ネマガリダケ) 5月から6月にかけて留萌管内ではタケノコ採りのピークを迎えます。タケノコはネマガリダケ、ササノコともいいます。笹藪をかきわけて大変な思いをして手にしたタケノコの味は格別です! タケノコを使った料理は色々あります。ゆでたてのタケノコにマヨネーズをつけて食べるシンプルなお刺身。煮しめ・味噌汁・タケノコごはん...各家庭の味があります。

タケノコの卵味噌あえ (4人分)

- 【材料】
- ・タケノコ 150グラム (1cm程度のななめ切り)
 - ・水 50cc
 - ・科学調味料 少々
 - ・卵 Lサイズ2個
 - ・味噌 大さじ2と1/2



小平町寧楽の共働学舎は、米、野菜、お肉、卵、パン、石けんなどを自給自足しています。4月26日のフードマガジンでは、共働学舎の肉の他、ピクルス、自家製酵母パンのサンドウィッチと、藤山産小麦と増毛産蜂蜜のベーグルを作って楽しみました。自宅から数キロ以内でとれた材料を自分の目で確かめ、作ったサンドウィッチを食べることは新鮮でした。そして、共働学舎の福澤元代表のお話も刺激的でした。「自分の頭と手を使って、工夫をして生活することで本能が磨かれるし、生きる力が

頭に良い食事



地元食材を使った
ベーグルのサンドウィッチ

育つ。是非食事を
作る。ことをして
ほしい!

市販のお弁当や冷凍食品は原料を確かめず賞味期限だけを信じて安全かどうかを判断しがちですが、プロセス

がわかる自家製は、素材の安全性を自分の五感で判断できる。それが生きる力につながるのです。最近、台所にある材料と自分の想像力を使い、食事を作ることが頭の刺激になると感じています。例えばシリアルは、餅米の玄米で似たようなものができました。その玄米の生産者は、子供たちも大好きな私の友人です。食べ物を種から育てるのは難しいことですが、留萌に住んでいると、農業を生業としなくてもさまざまな体験ができます。留萌って、体に良いだけではなくて、日々学べる良い環境です。

るもいフードマガジン
〒077-0046 北海道留萌市港町3丁目13番地
TEL/FAX 0164-42-9757 E-mail alainasato@hotmail.com
ブログ http://rfm.blog51.fc2.com



るもいフードマガジン
主宰・佐藤アレーナさん

「るもいフードマガジン」は食についての情報交換の場です。どなたでもご参加できます。留萌管内ならではの地産地消に関する、お問い合わせは、「るもいフードマガジン」へ。

5月の予定 24日(土) 田植え体験 31日(土) よもぎもち作り

【作り方】
鍋に水をはり、顆粒だしを入れる。中火にかけ味噌を溶かす。その中に卵を割り入れ、そばろ状になるまで箸でかきまぜる。弱火にして水分を飛ばし、ゆでたタケノコを入れて軽く混ぜ合わせ、火をとめる。お好みで科学調味料を入れてもよい。一晩寝かせると味が染みて、なおおいしくなります。